

2氏、36社の栄誉たたえる 測量・地理空間情報技術奨励賞と 公共測量品質管理優秀賞授賞式



関東選出の企業や奨励賞を表彰した

日本測量協会（日測協、清水英範会長）は22日、東京都文京区の東京ドームホテルで2023年度の「測量・地理空間情報技術奨励賞」と「公共測量品質管理優秀賞」の授賞式を開いた。奨励賞は国際航業事業技術開発本部・先端技術開発部の高橋元気氏、高知工科大学助教の村井亮介氏の2人が受賞。測量成果の検定（基準点測量、地図作成）で品質管理が特に優れていた測量会社に贈られる公共測量品質管理優秀賞は36社が受賞した。

式典の冒頭、清水会長は「奨励賞は公益性が高く、創設25年の間にこの分野を代表する賞になったと感じている。品質管理優秀賞は、測量の重要性が広く認知され、賞の価値がますます大きくなっている。今回の受賞を機にますます研究や業務に精励してもらい、この分野の発展に貢献してほしい」と祝辞を述べた。



祝辞を述べる清水会長

日測協

奨励賞を受賞した高橋氏の論文テーマは「MMS（モバイル・マッピング・システム）点群データの自動ラベリングに適した点群特徴量」。「MMS点群データから道路地図作成についてのホットで貴重な研究成果であり、独自のアイデアを組み込んだ工夫が見られる」（日測協）などと評価された。

村井氏の論文テーマは「UAV（無人航空機）画像における植生観測のためのカゲ補正手法」。「UAVに搭載したデジタルカメラによるRGB値を用いた植生のフェノロジー観測手法」。「UAVを用いたBRFを考慮したオルソ画像生成手法」の3編。「3編に共通してUAV画像を用いて植生観測を行う際の補正手法についての貴重な研究成果（日測協）などと評された。公共測量品質管理優秀賞は

▽関東9社▽北海道5社▽東北2社▽北陸2社▽中部4社▽関西6社▽中国2社▽四国3社▽九州3社計36社（基準点25社・地図11社）が受賞した。このうち、22日は関東地域の9社を表彰した。

公共測量品質管理優秀賞受賞36社は次の通り。

- 【関東】朝日航空（地図）▽格和測量設計（同）▽協立コンサルタンツ（基準点）▽京葉測量（同）▽こころそく（地図）▽国際航業埼玉支店（基準点）▽大同情報技術（同）▽ナカノアイシステム（地図）日測（基準点）
- 【北海道】岩見沢測量設計（基準点）▽北日本測地（同）▽協和コンサルタンツ（同）▽パスコ札幌支店（地図）▽富士建設コンサル（基準点）
- 【東北】北日本朝日航空（地図）▽三和技術コンサルタント（基準点）
- 【北陸】上智（基準点）▽平成測量（同）
- 【中部】神田設計（基準点）▽東海共同測量設計コンサルタント（同）▽名邦テクノ（同）▽ユニオン（同）
- 【関西】ウエスコ（地図）▽かんこう（同）▽キタイ設計（基準点）▽GGEOSソリューションズ（地図）▽ティール・エス・シー（基準点）▽内外エンジニアリング（同）
- 【中国】セトウチ（基準点）▽なんば技研（同）
- 【四国】第一コンサルタンツ（地図）▽理光設計（基準点）▽ワタリコンサルタント（同）
- 【九州】朝日航空西日本空情支社福岡支店（地図）▽大分技術開発（基準点）▽大和コンサル（同）